Windows10古いDynabookをSSDに交換してクリーンインストール

2011年製の東芝ノートパソコンDynabook(T451/46D)を、ハードディスクをSSDに交換してWindows10をクリーンインストールしたので備忘録を残す。

Core-i5でメモリ8Gbyteなので基本仕様は悪くはないのだが、メチャクチャ遅かったSSDに交換する事で劇的に早くなり快適になった。

Windows10インストール用のDVD作成

下記URLからWindows10インストール用のIOSファイルを入手しDVD-ROMに書き込み、インストール起動DVDディスクを作成しておく。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10ISO>

ハードディスクの交換

SDDは「Crucal MX300 2.5-inchi 275GB」を入手。参考のリンクの手順を参照し、下写真のようピッタリ収まり交換できたSDD本体の厚さがHDDより多少薄いのでSDDに付属していたプラスチックのスペーサは貼り付けた）

Windows10のクリーンインストール

上記で作成しておいた、起動DVD-ROMをセットしてリセット起動。画面指示に従いWindows10をクリーンインストール。

- 外付けのUSB機器などはできるだけ外しておく。特にUSB-HDDがあると起動ディスクの認識に失敗したりする。
- プロダクトキーは「なし」で進める。いままで、同パソコンで以前のWindowsが動いていたので、ネットワークに接続されると自動的にライセンス認証されるHDDを交換したくらいでは大丈夫

のよう）

LogicoolのSetpointが動作しない?

Logicoolのマウスを使っており「ロジクール Setpoint 6.67」を入手してインストールしたが、起動してもSetpointの画面が出ない事象が発生した。ググってみたらクリーンインストールした時には（Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ」が必要なようで、下記URLから入手してインストールしたらOKとなった。

- Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ（64bit用のx64版）<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=2092>
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージ（32bit用のx86版）<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=5582>

所感

Windows10のインストールも1時間程度で終わり、案外素直にインストール完了した。
Windows10の起動時間も10秒程度で起動する。これまでWindowsの起動時間は遅いというイメージがあったが（Windows10では工夫もされているのだろうけどSSDの効果だろう。とても速くなって快適で見直した！！終了時間は多少遅くなっても起動時間が早いのは嬉しい。
速い思ってたMacパソコンが遅く感じるようになってきた(^^;)。

参考

---

1. ノートパソコンのHDD（ハードディスク）をSSDに交換しました！そしたら激速に！！ 2. 東芝 dynabook T451 HDD交換 3. Windows10でSetpointが動かない時の解決法（Microsoft Visual C++ 2008 SP1再頒布可能パッケージが必要】 4. Windowsがインストールできない場合の対処方法1(2017年版:ちょっと初心者向け) 5. dynabook T451/**E（dynabook EX/47E（T351/**Eシリーズ用　Windows 8 アップグレードモジュール 6. ハードウェア構成の変更後に Windows 10 のライセンス認証をもう一度行う

From:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/software/windows/windows10/windows10-clean-install?rev=1590992884

Last update: **2020/06/01 15:28**